

平成17年12月期 第1四半期業績の概況（連結）及び中間期業績予想の修正について

平成17年4月21日

会社名	株式会社ワールドインテック	上場取引所	JASDAQ
コード番号	2429	本社所在都道府県	福岡県
(URL http://www.witc.co.jp)			
代表者	役職名	代表取締役	
	氏名	伊井田 栄吉	
問い合わせ先	責任者役職名	取締役経営管理本部長	
	氏名	菅野 利彦	TEL (093) 533-0540

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
(内容)
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
(内容)
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
(内容)

2. 平成17年12月期第1四半期業績の概況（平成17年1月1日～平成17年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第1四半期	4,905	100.0	120	2.5	94	2.0	51	1.0
16年12月期第1四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考) 16年12月期	19,532	100.0	649	3.3	623	3.2	316	1.6

(注) 四半期の概況は当第1四半期から作成しておりますので、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループは、業容拡大と共に内部体制の確立を図りながら、企業価値の極大化を目指し、以下の4つを中長期経営計画の戦略としております。

① 事業ミックス戦略

現在のコア事業であるファクトリー事業と新規事業の選択と集中による経営資源再配分

② クライアントのコア業務の獲得

生産管理部門、人材開発部門を強化し、クライアントのコア業務獲得

③ 当社グループの研究技術事業としてサブ・コア事業の確立化戦略

研究技術事業として、TS事業及びR&D事業を特定派遣による売上拡大を行い、二つ目の柱を確立

④ 首都圏展開戦略

セールスプロモーション（販売促進）事業を首都圏を中心に立ち上げ、又コンサルティング事業も首都圏で展開

以上の戦略を実施した結果、業容の拡大が堅調に推移し、売上高は4,905百万円、営業利益120百万円を計上し、上場関連費用25百万円等を吸収して、経常利益94百万円、四半期純利益51百万円となりました。

[参考] 平成17年12月期第1四半期の単体業績概況 (平成17年1月1日 ~ 平成17年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第1四半期	4,750	100.0	124	2.6	99	2.1	56	1.2
16年12月期第1四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考) 16年12月期	17,979	100.0	766	4.3	741	4.1	401	2.2

(注) 四半期の概況は当第1四半期から作成しておりますので、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

セグメント別の売上高を見ますと、次のとおりであります。

なお、今期より経営戦略の実行度合をより鮮明に表示するためにセグメントの名称を変更しております。

新セグメント別の売上高

(単位：百万円)

セグメント	売上金額	
	連結	単体
ファクトリー事業	4,378	4,378
研究技術事業	372	372
各種サービス事業	154	—
計	4,905	4,750

[参考] 従来のセグメント別の売上高

(単位：百万円)

セグメント	売上金額	
	連結	単体
ファクトリー事業	4,378	4,378
スポット事業	154	—
その他事業	372	372
計	4,905	4,750

3. 平成17年12月期中間の業績予想

平成17年2月17日に発表いたしました中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

(1) 平成17年12月期中間連結業績予想の修正 (平成17年1月1日～平成17年6月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	9,888	154	80
今回修正予想 (B)	10,023	252	115
増減額 (B-A)	135	98	35
増減率 (%)	1.4	63.6	43.8

(2) 平成17年12月期中間業績予想の修正 (平成17年1月1日～平成17年6月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	9,491	166	83
今回修正予想 (B)	9,629	265	121
増減額 (B-A)	138	99	38
増減率 (%)	1.5	59.6	45.8

[修正の理由]

当中間期において、派遣法改正による影響及び当業界の人材不足による採用募集経費増による利益への影響を予想しておりましたが、経営戦略による顧客ニーズに対応できるサービス網（派遣事業の許認可（平成17年4月21日時点）19拠点）をいち早く確立したことや他種多様な職種の受注確保により当社グループ内での人材活用を効率的におこなったことにより、当中間期においても効果が現れていることから、平成17年12月期中間の業績予想につきまして修正をおこなうものであります。

(注) 上記記載金額は、百万円未満を切捨てして表示しております。業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成17年12月期 第1四半期)		(参考) 平成16年12月期	
	金額	構成比率	金額	構成比率
I 売上高	4,905	100.0	19,532	100.0
II 売上原価	4,181	85.2	16,528	84.6
売上総利益	724	14.8	3,004	15.4
III 販売費及び一般管理費	603	12.3	2,355	12.1
営業利益	120	2.5	649	3.3
IV 営業外収益	0	0.0	13	0.1
V 営業外費用	26	0.5	38	0.2
経常利益	94	2.0	623	3.2
VI 特別利益	—	—	13	0.1
VII 特別損失	—	—	15	0.1
税金等調整前四半期 (当期)純利益	94	2.0	622	3.2
法人税、住民税及び事 業税	80	1.7	356	1.8
法人税等調整額	△36	△0.7	△50	△0.2
少数株主利益又は損失 (△)	—	—	△0	△0.0
四半期(当期)純利益	51	1.0	316	1.6